



# 子どもたちを守るために

## —みんなで作った安全・安心マップ—

今の子どもたちを取り巻く環境は、私たちの子どもの頃に比べると、決して安全とは言えず、安心して遊ぶ場所も少なくなっています。子どもを一人で外出させるのも躊躇するほどです。どこへ外出させるのにも、防犯ブザーを持たせることが当然のようになっていきます。だからと言って、親が常に子どもと一緒に行動するわけにもいきません。

そこで、下羽栗小学校PTAでは、今年度、「すべては子どもたちのために・みんなでやさしく見守り育てよう」を活動のテーマとして、子どもたちの安全・安心をどう守っていくか、また子どもたちのためにPTAにできることは何かを考えてきました。その活動の一つとして、『下羽栗小学校 安全・安心マップ』の作成に取り組みました。

六月十六日のファミリー参観では、学校が初めての試みとして、緊急引渡しし下校訓練を行いました。これは災害時に、安全に子どもを保護者に引き渡すための訓練でした。

この機会をとらえ、PTAとして、親子下校をしながらの通学路の安全点検を呼びかけました。安全点検は、交通安全・不審者・地震対策の三つの視点で行いました。

ほぼ全校児童の保護者が参加し、たくさん情報を得ることができました。多くの目で見ることにより、普段気付かない危険箇所も多数知ることができました。また、『下羽栗子どもを見守る会』の皆さんにもご協力をいただきました。この時私は、保護者の皆さんや地域の皆さんの、子どもたちを守ろうという思いの深さを感じました。

こうして集めた情報を基に、安全・安心マップの作成を進めました。

下羽栗小学校区は豊かな自然に囲まれ、子どもたちが伸びやかに育っていくのにはとても良い環境にあります。

子どもたちが安心して外出できる環境を、保護者と地域の皆さんが協力して作っていくことができましたと思っています。

そして、このマップを手に、親子での会話の時間を増やし、安全についての意識を高めてほしいと思います。

笠松町立下羽栗小学校  
PTA会長 野垣 二三治



マップを見ながら安全確認

# 第1回水防工法競技大会

## 木曾川右岸地帯水防事務組合

木曾川右岸地帯水防事務組合（管理者広江正明笠松町長）主催の第一回木曾川右岸地帯水防事務組合水防工法競技大会が、十一月十八日笠松競馬場西駐車場で開催されました。

この大会の目的は、水防団員の士気高揚、洪水即応の作業向上、水防体制の万全、区域住民の水防に対する理解と協力を得ることです。

笠松町をはじめ岐南町・岐阜市・各務原市の十五水防団、四百二十人が参加して、積土のう工法には八団が、月の輪工法には七団が訓練した技術やスピードなどの成果を競いました。

当町関係の水防団の成績は次のとおりです。

- 積土のう工法の部
  - 優勝 米野水防団
  - 準優勝 門間水防団
- 月の輪工法の部
  - 準優勝 無動寺水防団



積土のうを突き固める米野水防団